

第3回

JR松阪駅前広場

と き：平成22年10月16日（土）
午後7時～午後8時30分

ワークショップ

意見のまとめ



松阪市マスコットキャラクター
ちゃちゃも

JR松阪駅前広場のリニューアル（修景整備）

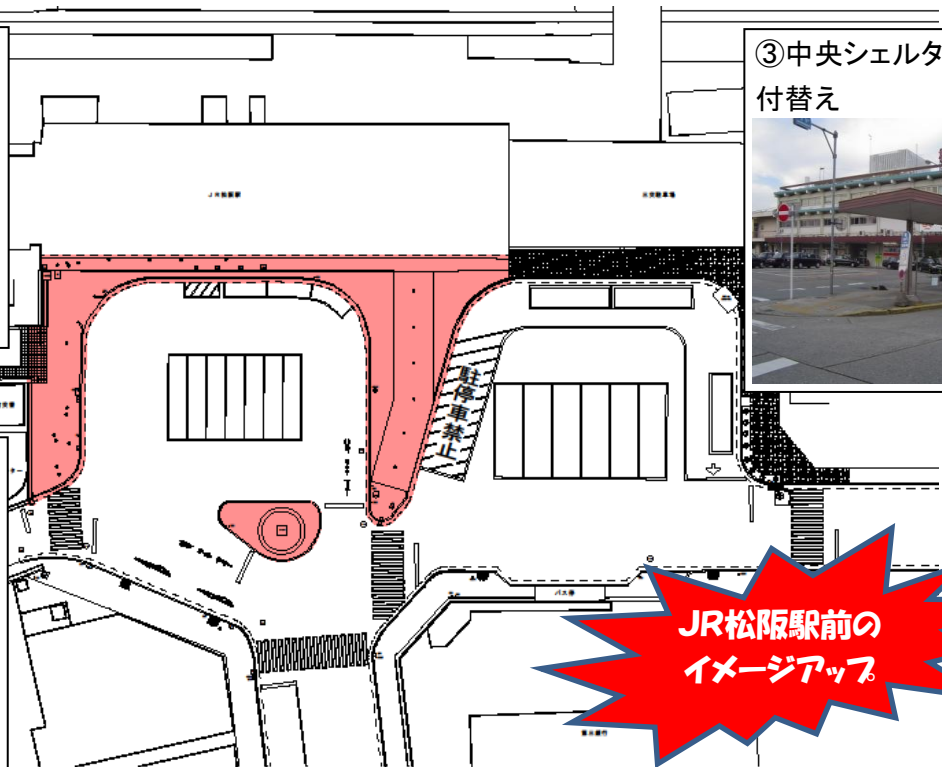
①歩道の修景整備
ユニバーサルデザイン



②モニュメントの
リニューアル



③中央シェルターの
付替え

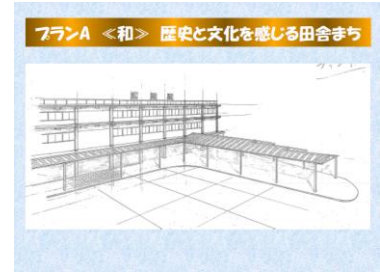
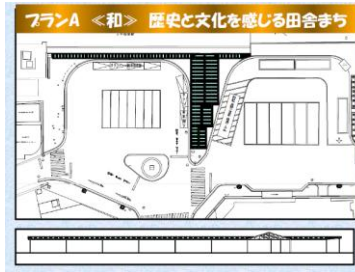


JR松阪駅前の
イメージアップ

整備イメージ案についての意見

◎ 3つの整備イメージ案などに対して、意見や感想を話し合いました。

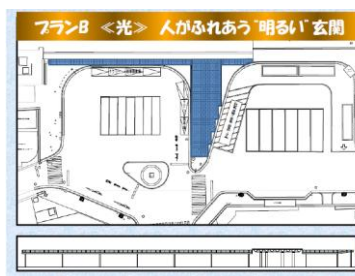
「プランA <和> ~歴史と文化を感じる田舎まち~」



●プランA

- ・「和」を基調とし、光を取り入れている所が良いと思いました。
- ・日射しの強さをある程度調節出来るところが良い。
- ・屋根のイメージはいいと思っている。そこに、松阪木綿などを取り入れてはどうか。
- ・松阪の情緒が出るのは、プランAである。
- ・ガラス窓を入れる箇所数や、入れ方でイメージを変えられるのかなと思います。
- ・屋根の素材では、色合い・形状などによっては、瓦に拘らなくても良いのでは。
- ・過去のワークショップの意見にあった、瓦葺き屋根に窓が入っているものだったら良いと思うが、鉄板屋根でどのように「和」を表現するのか想像できない。
- ・鉄筋コンクリート造の建物である第三銀行や駅舎のところへ「和」というものを持ってきて合致するのか疑問である。

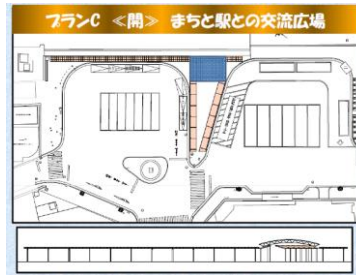
「プランB <光> ~人がふれあう“明るい”玄関~」



●プランB

- ・明るさの確保や、駅周辺との調和を考えるとB案が良い。
- ・バスに乗降する人が、雨に濡れないよう屋根の隅は切らず、カーブをつけて歩道全体を覆う方が良いのではないかと。(きれいな台形の方が格好良く見えると思う。)
- ・三交側にあるシェルターと、一体型になるようなものを造れば一体感が出る。
- ・夜になったら暗くなるが照明はどうするのか。
- ・ガラス張りで良いが、夏の強い日射を遮れない。(夏場にどれだけ暑いのか理解できているのか。)
- ・ガラスを使用するので、メンテナンスを行わないと見苦しくなるが、メンテナンス料が高い所が気になる。

「 フランC <開> ~まちと駅との交流広場~ 」



●フランC

- ・プランBの全体的なガラス屋根よりも、大きな屋根と小さな屋根を使っていてバランスが良いプランCが良いと思う。
- ・松阪は晴れている日が多く、雪もあまり積もらないので、雨の日のことばかり考えずに、晴れた日を活かすということを考えて、プランCが良いと思いました。
- ・開放的で面白いが、雨が降った時のことを考えると問題がある。
- ・夏の強い日射を遮れない。
- ・メンテナンスにお金がかかる所が気になる。
- ・開放的なところが利点として挙げられていますが、今のままだと自転車置き場が向かい合っているイメージに見えました。

「 その他 ~駅前広場整備についての意見~ 」



●その他

- ・駅舎の建て直しに併せて、駅前広場全体を整備した方がいいのではないかな。
- ・シェルターを第三銀行のところまで延ばして設置してほしい。
- ・前回のワークショップの時に、歩道全体を屋根で覆うというアイデアがあったが、今回の案では、観光情報センター前の屋根が省かれている。少しでもいいので屋根をつけてもらいたい。
- ・駅から観光案内所まで、お客さんを引っ張っていくような仕掛けを考えてはどうか。
- ・現在の松阪駅周辺では、訪れた観光客は何もないところだと感じてしまう。日通や三交の跡地を利用して、何か整備をしないと松阪駅周辺は良くなれないと思う。
- ・勾配屋根の傾き具合や、柱の太さや形をもう少し詳しく練っていただきたい。
- ・全面的ではなく、楕円形の屋根など一部を取り入れることもできるのではないかな。
- ・歩道の舗装は、屋根との調和を考えて、シックな渋い感じにした方が良さ。
- ・松阪インター付近にある鈴のモニュメントのように、鈴を強調したものに變更してはどうか。
- ・高齢者や子どもが休憩する場所がないので、ベンチを置く必要がある。
- ・時計はつけないかな。
- ・喫煙場所も考えてもらいたい。



整備イメージ 決定!!



松阪市マスコットキャラクター
ちゅちゅも

プランA 《和》 歴史と文化を感じる田舎まち

“切妻タイプの屋根”、“落ち着いた色調”をベースにすることによって、和のイメージを創出し、松阪の歴史・文化を感じさせる。
屋根の部分には、天窗を多く設け、屋根から差し込む光を取り入れる。

